

誠

伸びを実感!

令和5年
5月30日第2号
発行者
校長 中園仁彰

観ている者に感動を与えてくれた 体育大会へありがとう!

5月20日は、朝から薄雲に覆われて、体育大会としては絶好の天候だったと思います。4年ぶりに全学年の保護者や来賓をお招きしての体育大会は、開会を待ちきれないような各ブロック集会の盛り上がりで、その幕を開けました。

ブロックの勝利に向けて、必死に先輩達についていく一年生、一年生をリードし、大いに三年生のフォロウをする二年生、そしていつのまにか「頼もしい存在」となっており、ダーシップを態度で見せた三年生。いずれも、苦しかった練習期間をしっかりと取り組んだ成果だったと思います。

何より、実行委員長、生徒会長が、「コメントしてくれた」先生達、そして家族への感謝」という言葉……。思いがけないことで、とても感動したと同時に感心させられました。広中生徒諸君、すばらしい体育大会をありがとう!

先生チームも大健闘!



体育大会の感想 (抜粋して掲載)

【一年生】

自分の心がどんどん変わっていったことが「成長」と思った。友達や先輩と協力して、体育大会がとても楽しいと実感できた。今まで長い話が嫌いだっただけで自分、生徒会長や校長先生の話を最後まで集中して聞いた。授業中の集中にもいかしたい。

来年は私達も先輩になるので、しっかり一年生を見守ってほしい、三年生を支えていきたい。

【二年生】

協力するために、学年を越えて意見交換できることが分かった。三年生の先輩にはどのような話し方をしたら失礼でないか考えたり、一年生の後輩には、優しくわかりやすく教えたりできるように努力した。

誰かのために、何かを目指してがんばることで、自然と一生懸命になっていた。

この体育大会の経験から、また新しい一年生や次の後輩達の世代に、体育大会や学校生活の良さを教えてあげたいと思った。

【三年生】

大縄の最後で、みんな涙を流しました。それは、一人一人が真剣に競技にのぞめたからその涙だと思う。

この学級でいられる時間は限られている。みんなを助け合えばいかなこともできるってところをもっと作っていきたい。

体育大会では、勇気を出して、チャレンジすることができた。

最上級生であり、同時に最後の体育大会。三年生全員が一生懸命になっていたことは、きっと後輩達の活力につながった。

生徒総会への取組も始まりました!

中学校らしい行事に「生徒総会」があります。令和5年度は6月6日に実施されます。この一年間の生徒会活動の目標や内容を定める大切な行事ですから、生徒会執行部は長い時間をかけて原案を作成します。体育大会が終了して間もなく原案の各学級審議が行われました。

一年生にとっては少し難しく感じましたが、三年生の先輩達が一年生の学級に入ってしっかりと指導してくれました。とても頼もしかったです。こうして、広川中学校の生徒会は、協働の在り方や校訓「誠」の意味を学んでいくのでしよう。みんなで協力して、充実した総会になるよう頑張ってください。



インフルエンザに用心しましょう!

本校では、体育大会の直前から、一日に(学校全体で)5名程度のインフルエンザ罹患(り)かんと欠席が続いています。全国的には数百名の陽性者が出た高校や、お隣の八女市では学年閉鎖した中学校もあります。家族間感染だけではなく、様々な場面での感染に注意が必要です。

必要に応じてマスクをしたり、しっかりと休養を取ったりするなど、今こそコロナ禍での学びをいかして対策をし、インフルエンザに負けない学校生活を元気に送りましょう!

